

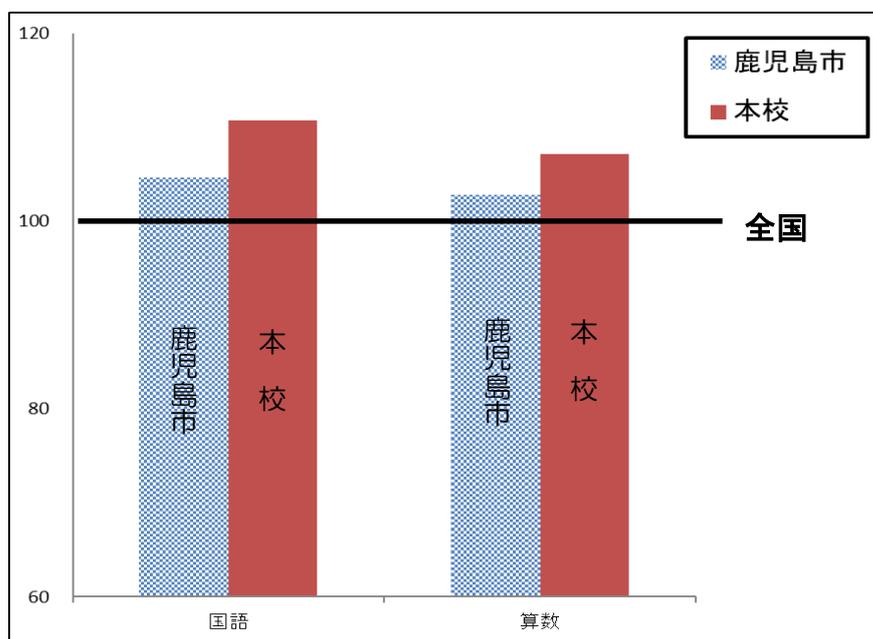
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和3年度の全国学力・学習状況調査が、6年生を対象に5月27日（木）に実施されました。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることと、学校における児童への教育（学習）指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本校の結果は次のとおりでした。

1 自校・市・全国の平均正答率の比較（全国平均正答率を100とする棒グラフ）



2 課題と改善策

(1) 国語

全国及び市の平均正答率を上回っていますが、字数制限のある条件に合わせて書くことに課題が見られました。また、字数条件はクリアできていても、他の条件を満たしていないことが見られました。「総合的な学習の時間」でのプレゼン作成とも関連させながら、情報を適切に取捨選択し、自分の考えをまとめることを意識させた指導に取り組んでまいります。

(2) 算数

全国及び市の平均正答率を上回っていますが、面積を求める問題の定着に課題が見られました。面積や体積などの公式をただ覚えるのではなく、どうしてそのような式になったのか、公式ができるまでの過程をじっくりと考えさせながら、公式を活用させる指導に取り組んでまいります。また、日々の授業の中で、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、朝の活動（わくわくタイム）で、いろいろな問題に挑戦させるなど、活用問題にも取り組ませてまいります。

(3) 全体的に

日々の授業での児童の反応が一番の課題です。ノートには自分の考えを書けていても、それが個々の発表にまで発展しない状況です。児童質問紙の結果からも、「自分には、よいところがあると思いますか」の自己肯定感・自己有用感を尋ねた設問の回答が低いでした。ペア学習やグループ学習での練り合い活動では、楽しい雰囲気の中で取り組んでいます。このよさを生かしながら、子供のつぶやきや発言を大切に授業を実践し、自己肯定感や達成感を高めてまいります。